

ワクチンについて

こんにちは！すっかり涼しくなって秋になりました。釧路の夏はあっという間に終わってしまいましたね。今年の夏は手足口病、伝染性紅斑（りんご病）が全国的に大流行しました。感染症は細菌やウイルスなどの病原体によって起こりますが一部の病原体ではワクチンによって感染症を予防することができます。今回はワクチンについて取り上げてみます。

ワクチンって何？

体の中にウイルスや細菌などの病原体が入り感染症を引き起こすと、この病原体に対する抗体が体の中で作られます。新たに体の中に侵入してくる病原体を攻撃する仕組みを【免疫】と呼び、この仕組みを活用したものがワクチンです。ワクチンには感染症の症状が軽くなったり、人にうつす事がなくなるという利点があります。



ワクチンの役割

ワクチンには3つの役割があります。

- 1.自分がかからないため
- 2.もし感染症にかかっても症状を軽くするため
- 3.人にうつさないため



まずは自分を感染症から守るために必要ですがワクチンを接種しても感染症にかかってしまうこともあります。ワクチンを接種していることで症状が軽くなる場合があります。インフルエンザなどはその典型といえるでしょう。また、人にうつしてしまうことでどんどん感染症患者が増え、社会全体であるいは全世界で流行（パンデミック）を引き起こす可能性が出てきます。命の危険や社会生活への影響など良いことはありません。そのため国を挙げてワクチン接種を呼びかけています。

ワクチンの種類と特徴

ワクチン分類	特徴	ワクチンの種類
生ワクチン	病原体の病原性を弱めたもの	はしか、風疹、おたふく、みずぼうそう、ポリオなど
不活化ワクチン	病原体を殺菌もしくは不活化して感染性をなくしたもの	インフルエンザ、A型ワクチン、狂犬病、日本脳炎百日咳*、B型肝炎*
トキソイド	病原体（細菌）の毒素を無毒化したもの。毒素に対する抗体が産生される	ジフテリア、破傷風など

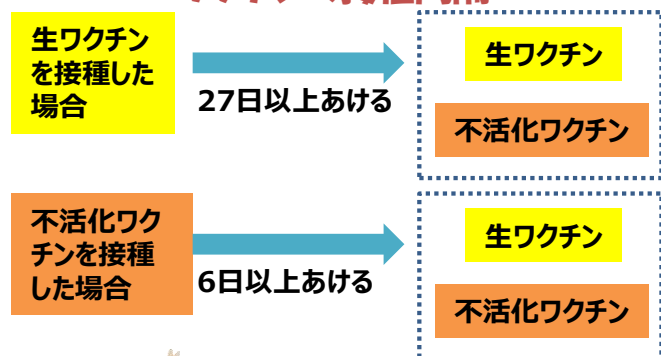
* 免疫から得られる抗原のみを残して精製したコンポーネントワクチンを使用

ワクチンのQ&A

- Q: ワクチン接種すると病気にかからないのですか？
A: 免疫獲得できますが100%ではありません。ワクチンにより異なりますが病気の重症化を防ぐ効果にとどまるものもあります。
- Q: ワクチン接種後はよくもんだほうがよいのですか？
A: もむ必要はありません、軽く圧迫でよいです。
- Q: 卵アレルギーの人がワクチン接種する際の注意点は？
A: インフルエンザワクチンは鶏卵、黄熱ワクチンは鶏の細胞を用いているため注意が必要です。接種時に医師にご相談下さい。

Q: 最近話題の予防接種・ワクチンがありますか？
A: 風疹が30代後半から50代半ばの男性が増えています。厚生労働省では風疹の追加対策として、昭和37年度～53年度生まれの男性に対し、居住地区の自治体から2022年3月末まで原則無料で風疹の抗体検査と予防接種を受けられるクーポン券を配布しています。詳しくは居住地区の自治体にお問合せ下さい。

ワクチンの接種間隔



すっかり涼しくなりもう秋ですね。風邪ひかないようにしましょう。次回もタイムリーな話題をお送りします。お楽しみに！